

令和3年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ネギハモグリバエ No2（ネギ・ラッキョウ）

令和3年11月8日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

これまで県西部ネギほ場で発生が見られていたネギハモグリバエ別系統（以下、B系統とする）が全県において発生確認され、ネギだけでなくラッキョウでも発生が確認されました。本害虫の発生地域においては、被害拡大防止のための対策を徹底しましょう。

2 発生経過と概要

- (1) 県東部及び中部のネギほ場において、従来のネギハモグリバエの被害と異なる症状が確認された（図）。
- (2) 県東部及び中部のラッキョウほ場において、従来のネギハモグリバエによる被害と異なる症状が確認された（図）。
- (3) 県園芸試験場において、採取したネギハモグリバエの遺伝子解析によりB系統であると同定された。
- (4) 令和元年に県西部のネギほ場において、葉に激しい食害を引き起こすB系統の発生が初めて確認されている（令和元年度病害虫発生予察特殊報第2号）。
- (5) 発生生態と被害の特徴及び防除上注意すべき事項については、令和3年10月27日発表の病害虫発生予察指導情報（ネギハモグリバエ、ネギ・ラッキョウ）を参照とする。



図 ネギハモグリバエ（上段 左：被害発生ネギほ場、中：幼虫の食害、右：成虫
下段 左 被害発生ラッキョウほ場、右：幼虫の食害）